

PM Symposium 2016

開催日：2016年9月1日[木]～9月2日[金]
場所：江戸川区総合区民ホール「タワーホール船堀」
申込：2016年6月3日[金](予定)～
問合せ：admi-sympo@pmaj.or.jp

vol. 19

◆ 9月1日[木]

基調講演 1 9:55～10:40

土俵を創る ～歴史観に基づく競争の近未来像～

三品 和広 神戸大学大学院経営学研究科 教授

1982年 一橋大学商学部卒業。1984年同大学大学院商学研究科修士課程修了。
1989年 ハーバード大学文理大学院博士課程修了。同年ハーバード大学ビジネススクール助教授。
1995年 北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術調査センター助教授。1997年同大学知識科学研究科助教授。
2002年 神戸大学大学院経営学研究科助教授。2004年同大学大学院経営学研究科教授。

【著書】

『モノ造りでもインターネットでも勝てない日本が、再び世界を驚かせる方法—センサーネット構想』
三品 和広(著)、センサー研究会(著)、東洋経済新報社、2016年
『経営戦略の実践1：高収益事業の創り方』 東洋経済新報社、2015年
『リ・インベンション』 東洋経済新報社、2013年



基調講演 2 10:50～11:35

IoT時代のイノベーション

～超スマート社会の実現に向けた日立的「社会イノベーション事業」～

齊藤 裕 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役副社長 IoT推進本部長

1979年 株式会社日立製作所 大みか工場 入社
2010年 執行役常務 情報制御システム社社長 兼 スマートシティ事業統括本部副統括本部長
2012年 執行役専務 インフラシステムグループ長 兼 インフラシステム社社長
2013年 執行役専務 情報・通信システムグループ 情報・通信システム社社長
2014年 代表執行役 執行役副社長 情報・通信システムグループ長 兼 情報・通信システム社社長
2016年 代表執行役 執行役副社長 IoT推進本部長



特別講演 12:40～13:40

デジタルビジネスはSEが 再度主役になる時代

～日本人の強みを活かしたマネジメントに回帰しよう～

宮田 一雄 株式会社富士通システムズ・ウエスト代表取締役社長

1977年富士通に入社。SEとは何かも知らずSEとなり、銀行・証券・通信キャリアのお客と一緒に様々なプロジェクトを経験させて頂いた。お客様と一体となり開発できた良き時代から、様々な環境変化を経て難しい時代になっている。自分が経験してきた事を次世代に継承して、SEを幸せにする為の人材育成がライフワーク。
日本TOC推進協議会 理事



特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会

Project Management Association of Japan (PMAJ)

〒106-0044 東京都港区東麻布1丁目5番2号 トウセン東麻布ビル7階

TEL 03-6234-0551 FAX 03-6234-0553 E-Mail admi-sympo@pmaj.or.jp

特別講演-1 9:35~10:50

なぜドラッカーはイノベーションを重視したか?

岩崎 夏海 氏 株式会社 源氏山楼

1968年生まれ。東京都日野市出身。東京芸術大学建築科卒。大学卒業後、作詞家の秋元康氏に師事。放送作家として『とんねるずのみなさんのおかげです』、『ダウンタウンのごっつええ感じ』等、テレビ番組の制作に参加。その後、アイドルグループAKB48のプロデュースなどにも携わる。2009年12月、初めての作品となる『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』を著す。『もしドラ』の続編となる作品『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「イノベーションと企業家精神」を読んだら』がある。



特別講演-2 11:05~12:20

なぜITシステムのトラブルは減らないのか

●スピーカー 松本 隆明 氏 独立行政法人情報処理推進機構技術本部
ソフトウェア高信頼化センター所長

1978年東京工業大学大学院修士課程修了。同年日本電信電話公社(現NTT)に入社。オペレーティング・システムの研究開発、大規模公共システムへの導入SE、キャリア共通調達仕様の開発・標準化、情報セキュリティ技術の研究開発に従事。2002年に株式会社NTTデータに移り、2003年より技術開発本部本部長。2007年NTTデータ先端技術株式会社常務取締役。2012年7月より独立行政法人情報処理推進機構(IPA)技術本部ソフトウェア高信頼化センター(SEC)所長。博士(工学)



特別講演-3 13:25~14:40

京都花街の経営学

西尾 久美子 氏 京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科 教授

京都市生まれ。実家は数代続く米穀商。大阪ガス株式会社に勤務後、1997年4月滋賀大学経済学部社会人入学、同2001年3月卒業。2006年3月神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了、博士(経営学)を取得。同年4月同大学大学院経営学研究科助手を経て、2008年4月京都女子大学現代社会学部准教授、2003年4月から現職。専門は、組織行動論、人的資源管理論。著書『京都花街の経営学』(東洋経済新報社)、『舞妓の言葉』(東洋経済新報社)、『おもてなしの仕組み』(中公文庫)など。



特別講演-4 14:55~16:10

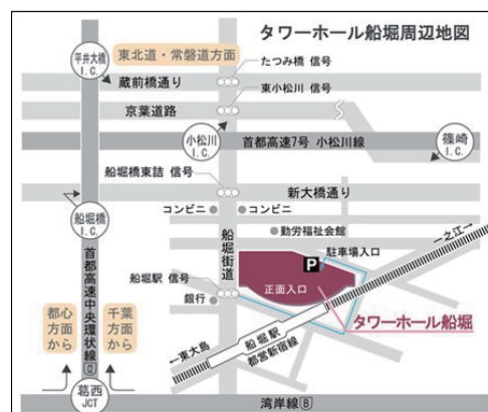
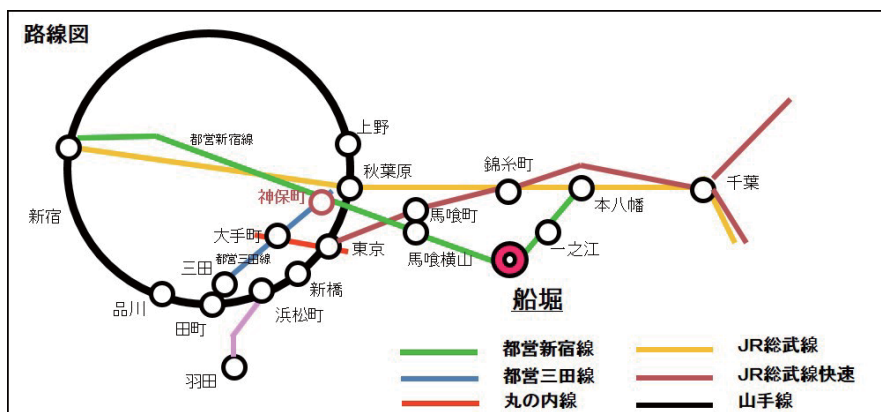
ゲノム医療実現のために、今、必要なこと

久保 充明 氏 理化学研究所 統合生命医科学研究センター副センター長

1988年九州大学医学部医学科卒業。同年同大学医学部第二内科入局(腎臓内科医)。1995年同大学大学院病院病態機能内科学(久山町研究室)研究生。2003年東京大学医科学研究所客員研究員。2006年理化学研究所遺伝子多型センターグループディレクター。2011年オーダーメイド医療実現化プロジェクトプロジェクトリーダー。2013年同研究所統合生命医科学研究センター副センター長。



アクセス



Supported by

